

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和3年2月18日(2021.2.18)

【公表番号】特表2020-507969(P2020-507969A)

【公表日】令和2年3月12日(2020.3.12)

【年通号数】公開・登録公報2020-010

【出願番号】特願2019-540572(P2019-540572)

【国際特許分類】

H 04 B	7/06	(2006.01)
H 04 B	7/0413	(2017.01)
H 04 B	7/0456	(2017.01)
H 04 L	27/26	(2006.01)
H 04 W	72/04	(2009.01)

【F I】

H 04 B	7/06	9 8 4
H 04 B	7/0413	1 0 0
H 04 B	7/0456	1 0 0
H 04 L	27/26	3 1 3
H 04 L	27/26	1 1 0
H 04 W	72/04	1 3 6

【手続補正書】

【提出日】令和3年1月6日(2021.1.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザ機器(UE)によるワイヤレス通信のための方法であって、

前記UEがサウンディング基準信号(SRS)送信に使用するためのプリコーディングリソースロックグループ(PRG)サイズを決定するステップであって、前記SRS送信が、1つまたは複数のPRGを含む帯域幅にわたって割り振られ、前記1つまたは複数のPRGの各々が、1つまたは複数のプリコーディングリソースロック(PRB)を含む、ステップと、

前記決定に従って前記SRS送信を基地局(BS)に送信するステップであって、各PRGが異なるプリコーダと関連し、同じプリコーダがそれぞれのPRG内で前記SRS送信に使用される、ステップとを含む、方法。

【請求項2】

前記決定が、前記基地局からのシグナリングに基づく、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記SRS送信に対するPRGサイズまたはレイヤの数のうちの推奨される少なくとも1つの指示を前記基地局に送信するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記SRS送信に対する前記PRGサイズまたは前記レイヤの数が、前記BSから前記UEに1つまたは複数のダウンリンク基準信号を送信するために使用される、請求項3に記載の方法。

。

【請求項5】

前記決定が、前記SRS送信のために使用されるポートの数に基づく、請求項1に記載の方

法。

【請求項 6】

レイヤの数が所定の数より少ない場合、前記PRGサイズが全動作帯域幅に相当する、請求項2に記載の方法。

【請求項 7】

前記決定が、前記UEの電力ヘッドルームに基づく、請求項1に記載の方法。

【請求項 8】

前記UEが全電力で送信しているので利用可能なUE電力ヘッドルームが存在しない場合、前記PRGサイズが全動作帯域幅に相当する、請求項7に記載の方法。

【請求項 9】

基地局によるワイヤレス通信のための方法であって、

ユーザ機器(UE)がサウンディング基準信号(SRS)送信に使用するためのプリコーディングリソースロックグループ(PRG)サイズを決定するステップであって、前記SRS送信が1つまたは複数のPRGを含む帯域幅にわたって割り振られ、前記1つまたは複数のPRGの各々が、1つまたは複数のプリコーディングリソースロック(PRB)を含む、ステップと、

前記決定に従って前記UEからのSRS送信を受信するステップであって、各PRGが異なるプリコーダと関連し、同じプリコーダがそれぞれのPRG内で前記SRS送信に使用される、ステップとを含む、方法。

【請求項 10】

前記PRGサイズに関する情報を前記UEにシグナリングするステップをさらに含む、請求項9に記載の方法。

【請求項 11】

前記SRS送信に対するPRGサイズまたはレイヤの数のうちの推奨される少なくとも1つの指示を前記UEから受信するステップをさらに含む、請求項9に記載の方法。

【請求項 12】

ユーザ機器(UE)によるワイヤレス通信の装置であって、

少なくとも1つのプロセッサを備え、前記少なくとも1つのプロセッサが、

前記UEがサウンディング基準信号(SRS)送信に使用するためのプリコーディングリソースロックグループ(PRG)サイズを決定することであって、前記SRS送信が、1つまたは複数のPRGを含む帯域幅にわたって割り振られ、前記1つまたは複数のPRGの各々が、1つまたは複数のプリコーディングリソースロック(PRB)を含む、ことと、

前記決定に従って前記SRS送信を基地局(BS)に送信することであって、各PRGが異なるプリコーダと関連し、同じプリコーダがそれぞれのPRG内で前記SRS送信に使用されることを行うように構成される、装置。

【請求項 13】

基地局(BS)によるワイヤレス通信の装置であって、

少なくとも1つのプロセッサを備え、前記少なくとも1つのプロセッサが、

ユーザ機器(UE)がサウンディング基準信号(SRS)送信に使用するためのプリコーディングリソースロックグループ(PRG)サイズを決定することであって、前記SRS送信が1つまたは複数のPRGを含む帯域幅にわたって割り振られ、前記1つまたは複数のPRGの各々が、1つまたは複数のプリコーディングリソースロック(PRB)を含む、ことと、

前記決定に従って前記UEからのSRS送信を受信することであって、各PRGが異なるプリコーダと関連し、同じプリコーダがそれぞれのPRG内で前記SRS送信に使用されることを行うように構成される、装置。